

校訓 明るく・楽しく・たくましく「あ・な・た」を大切にする心のふるさとパリ日 depuis 1973

# 日仏文化学院 パリ日本人学校

令和7年度学校だより 第2号 令和7年4月22日発行 パリ日本人学校 堀内正樹

## 新年度、笑顔でスタート！ 始業式・着任式

4月8日、校庭に見事に咲いた関山桜に見守られながら、令和7年度着任式と始業式が行われました。着任式では新しく赴任された先生方から自己紹介があった後、児童生徒代表が歓迎の言葉を述べました。伝統あるパリ日の様子を見事に伝えてくれました。

始業式では、校長から「夢をもつことの大切さ」についての話があり、夢を叶えるためにこんなことに取り組んでみたら…という提案がありました。児童生徒3名の新学期の抱負が発表されました。日本人学校ならではの視点から具体的な目標について述べられているものが多く感心させられました。

### 着任式 代表生徒の歓迎の言葉

#### ●小学部6年 杵山はづき

新しく来られた先生方、初めまして。私たちはみなさんにお会いできることを楽しみに待っていました。パリ日本人学校の行事について2つ紹介します。

一つ目はパリ日発表会です。パリ日発表会は各学年で音楽、劇などをクラスで練習して他の学年や自分達の親に見てもらう行事です。クラスの団結力が強まるパリ日本人学校ならではの行事です。

二つ目はヴェルサイユ遠足です。たてわり班で協力し、クイズなどをして世界遺産をウォークラリーします。縦のつながりを深める大切な行事です。

このように、パリ日本人学校には楽しく成長できる行事がたくさんあります。今年も先生方とたくさんの行事ができるのが楽しみです。

先生方はすぐにパリ日本人学校になれると思います。なぜなら、パリ日本人学校の児童は「明るく・仲良く・たくましい」からです。

明るくは、主体性、積極性。仲良くは協調性。たくましくはチャレンジ精神。このとおり、授業の時やバスの挨拶のときに積極的に発言しています。転入生が来た時も、クラスのみんながたくさん声をかけ、クラスの1員として馴染ませることが出来ます。

パリ日本人学校は日本の学校と違うところもあると思います。わからないことがあったら、私達に聞いてください。

これから、一緒に過ごせることをとても楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

#### ●中学部 3年 福永優貴

本日は、新しくパリ日本人学校に着任された先生方をお迎えできることを、大変嬉しく思います。

ようこそ、パリ日へ！

ここパリ日は、海外で生活する私たちにとって、学びと成長の場であり、安心して過ごせる大切な居場所です。多文化に触れ、国際的な視野を広げる機会も豊富にあります。先生方のもとで多くのことを学べることを、とても嬉しく思います。

パリ日には、日本人学校ならではの行事がたくさんあります。それぞれの学年が力を合わせ、一つの劇や作品を作り上げる「パリ日祭」、1人ひとりがテーマに沿ったスライドを作成し発表する「パリ日フォーラム」、さらに、美術館や国際機関を訪れる社会見学、現地校交流など、ここでできない経験を積むことができます。

中学部では昨年、パリ日祭で「かがみの孤城」の劇を披露しました。毎日1時間の練習で、演技の質を高めるだけでなく、大道具や小道具、背景、音響にもこだわり、本格的な舞台を目指しました。合唱の練習も重ね、本番では多くの人に感動を届ける劇となりました。中学部1人ひとりが主体的に取り組み、素晴らしい作品を作り上げることができました。

そしてパリ日フォーラムでは、タブレットを活用して調査を進め、信頼できる情報を収集し、スライドの構成やデザインにもこだわりました。本番では、話し方やジェスチャーも工夫し、説得力のあるプレゼンを目指しました。

他にも課題やテスト勉強で大変なこともあります。その分、成長を実感できる瞬間が増えます。先生方にも、そんな私たちの姿を見守っていただけると嬉しいです。

また、パリは世界的に有名な文化や芸術、歴史、美食にあふれた街です。ぜひフランスならではの魅力に触れながら、充実した毎日をお過ごしください。先生方にとっても、ここでの生活がかけがえのないものとなることを願っています。

私たち生徒も、新しい先生方と出会い、一緒に学べることを心から楽しみにしています。これからどうぞよろしくお願いいたします！



### 始業式 代表生徒作文発表

#### ●小学部3年 田中大也

ぼくは、3年生にむけて、がんばりたいことが三つあります。一つ目は、計算です。どうにかという今もたし算やひき算、かけ算ができるけどぼくはもって計算をした

り九九をいうのもっと早く言いたいからです。あと、買い物をした時、今は、お父さんやおかあさんがはらってくれているけど、ぼくが大人になったら、自分がはらうときに計算がやくだつからです。

二つ目は、字をていねいに書くことです。ぼくは、小さいころから字をかくのがにがてです。だけど3年生になったらいまよりていねいにかけるようにがんばりたいです。

三つ目は、友だちかんけいです。ぼくは3年生になったら学びゅうだいひょうになっていい3年生になりたいです。あと友だちと、もっとなかよくなれるようにがんばりたいです。3年生になってもいろんな学しゅうやぎょうじなどにとりくんで、いい3年生になりたいです。

## ●小学部4年 杵山 みずほ

わたしが4年生になってがんばりたいことは2つあります。

一つ目は算数の図形の学習です。3年生の三学期に3角形の学習をしましたが、わからないところがあって、少し苦手だと感じました。だから、4年生になったら自主学習で図形の勉強をしたいです。また、計算ドリルなどで問題をとく練習をしたいです。そして、図形の学習がとくになりたいたいです。

二つ目はあいさつです。パリ日では、毎朝、バスホールで児童会のみなさんがあいさつをしてくれています。児童会のみなさんはいつもえがおであいさつをしてくれて、わたしはそのえがおで元気になりました。わたしも4年生になったら、そんなあいさつができるようになりたいと思いました。学校の中でも外でもえがおであいさつをしたいです。

3年生でがんばったことを4年生で生かしたいです。そして、学習やあいさつを3年生の時より、もっとできるようになりたいです。



## ●中学部3年 井上 惟

今年も進級の時期がやってきました！

僕が毎年楽しみにしているこの季節、皆さんも新しい転入生や行事のことでワクワクしていると思います。今日は僕の今年の目標について話したいと思います。

突然ですが、フランスの街中で店員さんとお客さんが友達のように親しげに会話をしている場面をよく見かけませんか？これは日本ではあまり見かけない海外特有の光景です。

僕がフランスに来たばかりのときは、このような日本では体験したことがないようなシチュエーションによく戸惑っていました。例えば、外国人の友達と話しているとき、「私はこう思うんだけど、あなたは？」と聞かれることがよくあります。そんな時自分は「どっちでもいいかな」と思ってしまったり、「なんとなくそう思う」としか答えられませんでした。すると、友達から「なんで？」とさらに質問されるのです。そのとき、自分が日本にいたときどれだけその場の空気に流されていたのかを痛感しました。

フランスでは、たとえ小さなことでも、「なぜ反対するのか？」「なぜ賛成するのか？」「なぜそう思うのか？」など、自分の意見を持つことが当たり前です。たとえ相手と意見が違って、「言うのをやめておこう」や「相手の方が正しいや」と消極的になるのではなく、まず自分の意見につい

て話してみるということが最も大切なことなのです。この姿勢は、日本の「空気を読む」文化とは少し違うかもしれません。日本では、周りに合わせることや、相手の気持ちを考えて発言することが大切にされます。私はこのことを学び、空気を読む事も大切にしながら、フランスで学んだ「自分の意見をしっかり持つこと」も大切にしたいと思うようになりました。

去年の僕は、自分の意見を発信するだけで相手の意見を尊重できなかったところもありました。しかし、今年はそうではなく、しっかりと周りの意見も尊重しつつ、自分も発言したいと思います。また、日常生活でも「なんとなく」ではなく、「僕はこう考える」という意識を忘れずに過ごしていきたいです。そして、この学校での最後の1年を通して、日本とフランス、どちらの良さも大切にしながら成長していきたいと思っています。



## キラキラの新入生入学 令和7年度入学式挙行

4月9日、駐フランス日本国特命全権大使下川眞樹太様、本校副理事長小松武志様をはじめ、多くのご来賓、保護者のご臨席のもと、令和7年度入学式が挙



行され、小学部14名中学部12名の新入生がパリ日本人学校に仲間入りしました。

新しいことが始まることへの期待感がさわやかな挨拶と所作に見て取れ、会場に幸せに満ちた時が流れるように感じました。



新入生代表の堂々とした決意発表、在校生からの温かな歓迎の言葉。どの発表も素晴らしく、新入生の新しい門出に見事に花を添えてくれました。

## 入学式 新入生代表の言葉

### ●中学部 1年 澤田志歩

桜が咲き誇るこの季節、私たちは今日、伝統あるパリ日本人学校の中学生になりました。新たな環境に不安を感じながらも、これから始まる新しい日々への期待で胸がいっぱいです。

中学生になるということは、義務教育があと3年で終わ



るということでもあります。この3年間を通して、私は自分がどんな人間になりたいのか、そして将来どのような道を歩みたいのかをしっかりと考えていきたいと思ひます。

小学生の頃、「将来、どんな人になりたい?」と聞かれるたびに、私は華やかな仕事をしたいと漠然と考えていました。芸能界のタレントさんやアナウンサー、アイドルなど、キラキラと輝く人々を見て、「私もたくさんの人に知ってもらえるような存在になりたい」と思っていました。しかし、小学6年生の時、将来について具体的に考える授業がありました。その際、自分が本当に何をしたいのかよく分からず、悩んだ末にお父さんに相談しました。すると、お父さんはこう言いました。

「人生に正解はない、ただ、困っている人を助けられる、心優しい人になれば素敵じゃないか。」

その言葉が心に残り、それ以来、私は少しずつ「困っている人を助ける」ということを意識するようになりました。そして、人から「ありがとう」と言われるたびに、「困っている人を支えられるような仕事をしたい」と思うようになりました。

霧がかかって見えなかった私の将来像も、お父さんの言葉のおかげで少しずつ霧が晴れ、輪郭が見え始めました。まだ『これだ!』と決められる仕事は見つかっていませんが、この3年間を通して、自分の進むべき道をじっくりと探し求めていきたいと思ひます。



## 入学式 歓迎の言葉

### ●小学部6年 佐藤 凌太

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。僕たちは、皆さんの入学を楽しみにしていました。今日は、皆さんに知ってほしいパリ日本人学校のいい所を3つ紹介します。

一つ目は、日本全国や外国から来た友達がいる事です。クラスの友達から色々な話を聞いたり、話したりできます。友達とたくさん話して、仲良くなって楽しい時間を過ごして下さい。

二つ目は、パリ日本人学校にしかないイベントがあることです。例えば、パリ日祭やヴェルサイユ遠足があります。パリ日祭では、学年ごとに劇や歌、合奏を発表します。ヴェルサイユ遠足では1年生から6年生でなる班でヴェルサイユ庭園を回りながらレクリエーションをします。これらのイベントは、みんなで協力して取り組むと達成感があります。

三つ目は、先生方が優しく、僕たちの気持ちを大切にしてくれることです。もし、挑戦したい事があれば先生に話して下さい。先生たちはどうすればいいか一緒に考えてくれます。また、それを目に見える形にするために力を貸してくれます。心強い先生方がいるので、皆さんも学校



生活の中で様々な事に挑戦してみてください。そして、新しい発見をたくさんして下さい。

今日言ったこと以外にもパリ日本人学校のいいところは、まだまだあります。皆さんも、これからの学校生活を通じて、いい所を探してみてください。僕は一人ひとりが自分にしか出せない色を大切にしたい、楽しい学校にしたいと思っています。困ったことがあったら近くのお兄さんやお姉さんにも話してみてください。力を合わせて、僕たちらしい学校を作っていきます。

### ●中学部3年 吉宮悠太郎

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ここパリ日本人学校での学校生活が楽しく、充実したものになるよう、心から願っています。



新中学1年生の皆さん、小学校から中学校へと進学して、今どんな気持ちでしょうか。新しい環境に期待している人もいれば、少し不安を感じている人もいるかもしれません。そんな人たちのために、僕からここパリ日の中学部について説明をさせて頂こうと思ひます。

中学部の大きな特徴は、異学年との関わりが特に多いということです。例えばパリ日祭。発表の部では中学部全体で劇を完成させることとなります。他にも宿泊学習や運動会など、中学部全体で行う行事はたくさんあり、そのため、中学部は一つのクラスのような雰囲気、異学年関係なくとても絆が深いです。

そして、これからの中学校生活がより良いものになるために、僕から1つ提案があります。それは、毎日毎日を大切に、ということです。

小学校は六年間でしたが、中学校は三年間、長いようであっという間に過ぎていってしまいます。一生に一度の中学校生活が有意義なものになるように、今のうちから心がけてみてはどうでしょうか。

最後になりますが、改めて、パリ日本人学校中学部へようこそ。この1年が皆さんにとって素晴らしいものとなるよう祈っております。

